

(社)自転車協会  
Cycle Aid Japan2012

東日本復興支援サイクリング  
開催決定！

社団法人自転車協会(本部:東京都港区、理事長 渡辺恵次)は、自転車で東日本を走ることによって東日本大震災で被害を受けた被災地の観光復興を目的とした「Cycle Aid Japan 2012 東日本復興支援サイクリング」を明年春(5月予定)実施致します。

詳細は今後詰めて参りますが、全国の自転車愛好家に参加して頂いて、東日本を自転車で自力で走ることによって、魅力あふれる観光資源を有し、力強く復興しつつある東日本を肌で感じて頂きます。

そしてこのような東日本の姿が広く内外に発信されることで、東日本ひいては日本全体に対する風評被害を払拭する一助となることを願っています。

## ■企画主旨

2012年春。

大震災から1年を経た後に、私たちは何ができるのか。

もとの暮らしを一刻も早く取り戻すための復興支援はこれからも必要ですが、被災地及びその周辺の人々は困難から立ち上がり、未来へと歩み始めつつあります。

自らの力で、新しい時代へと動き始めた東日本を支援・応援するために。

「観光復興」を復興支援のテーマに掲げる私たちは今回、自転車のチカラでできることを考えました。

自転車は、自力でこいで、風や景色を全身で感じながら進む乗り物です。

たくさんの人に東日本を訪れて、自転車に乗って欲しい。

そして魅力あふれる観光資源を有し、力強く復興しつつある東日本を、風評などに惑わされず実際に見て肌で感じて頂きたい。

そんな思いを込めて私たちは今回、東日本を自転車でめぐるプロジェクトを企画しました。

この企画が被災地及びその周辺の人々に活力を与え、東日本経済の活性化に直接つながる、実のある復興支援の一助となることを願っています。

そして魅力あふれる観光資源を有し、力強く復興しつつある東日本の姿が、本イベントに参加した人々に止まらず、日本中ひいては世界中に発信されることを願っています。

## ■開催概要

開催概要は以下のとおりです。なお具体的な内容につきましては、今後修正されることもありますので、詳しくは後述の大会HPをご覧ください。

主催 社団法人 自転車協会

共催 東奥日報社 デーリー東北新聞社 岩手日報社 河北新報社 福島民報社  
(予定) 福島民友新聞社 茨城新聞社 千葉日報社 共同通信社

後援 経済産業省 国土交通省 観光庁  
(予定) 青森県 岩手県 宮城県 福島県 茨城県 千葉県

協力 財団法人 日本サイクリング協会  
(予定) 青森県サイクリング協会 岩手県サイクリング協会 宮城県サイクリング協会  
福島県サイクリング協会 茨城県サイクリング協会 千葉県サイクリング協会  
その他自転車関連団体

行程・日程 千葉県と青森県間を夫々起点とし、最終ゴールを宮城県仙台市とする全6ステージとします。  
スタートは5月12日(土)とし、具体的なコース内容、日時につきましては後日発表致します。

参加カテゴリー 1ステージ  
フルライド(1泊2日ツアー)  
日帰りライド(日帰りツアー)

参加予定数 フルライド 400名程度  
日帰りライド 200名程度×土、日  
1ステージ1,200名程度×6ステージ 延べ人数7,200名程度参加

想定距離 フルライド  
平均約120km～140km(2日間)/1ステージ  
日帰りライド  
平均約30km～40km(1日間)/1ステージ

※ルール 今回のサイクリングイベントは、交通法規に則り、  
例えば、赤信号は停止し、車道の左端を一行で走行します。  
スピードや、時間を競う大会ではありません。

募集開始 2012年1月中旬発表予定

## ■グランドフィナーレ

最終ゴール地点の宮城県仙台市では、ステージイベント、試乗コーナー等を設置しサイクリング参加者と地元の方々との触れあいの場所を準備する予定です。

更には、安全な自転車の選び方、メンテナンス、交通ルールやマナーの講習、自転車と健康、自転車と環境など様々なテーマを取り上げます。

また仙台でのグランドフィナーレ以外にも各行程で地元の方々との触れ合いを主眼とした交流の場を設けます。

## ■大会H. P

Cycle Aid Japan 2012 に関する大会公式Webサイトを開設しました。(cycle-aid-japan.jp)

本Webサイトでは今後走行ルートやイベント内容に係る情報に加えて、東日本の観光スポット等の情報を随時盛り込みます。

## ■その他

本件は、Cycle Aid Japan 2012 と銘名打っておりますが、本プロジェクトを一過性のものではなく、長期的な継続事業として実施致したいと考えております。

## ■自転車協会について

社団法人自転車協会は、自転車の製造・輸入に関わる企業、自転車に関わる団体・個人により構成され、利用者に”安全、安心で環境にやさしい自転車”を製造・供給・販売するという業界団体の最大の使命をマーク認証事業を通して推進しています。

当該認証事業には、一般用自転車(含む電動アシスト自転車等)を対象とした BAA マーク制度並びにスポーツ用自転車を対象にしたスポーツ BAA マーク制度の2つがあります。

BAA マーク制度とは、利用者に安全、安心な自転車を供給することを目的に、業界自主基準である自転車安全基準に適合した一般用自転車に BAA (BICYCLE ASSOCIATION(JAPAN) APPROVED) マーク(社団法人自転車協会認証)を貼付する制度で2004年9月よりスタートしました。同制度開始以降、マークの交付枚数は累計で1,730万枚を超えており、着実に浸透が図られています。

また、最近人気のスポーツ用自転車については、一般用自転車以上に自転車の品質に加えて、販売者の力量に負うところが大きいことから、製造・輸入事業者、販売事業者が一体となったスポーツ BAA マーク制度を2007年10月からスタートしています。

更に両制度とも環境問題にも十分配慮しており、原則全ての自転車構成部品から環境負荷の高い鉛、水銀等6物質の使用削減に自主的に取り組んでいます。

《この件に関するお問い合わせ先》

社団法人 自転車協会 業務部（菅野）

〒107-0052 東京都港区赤坂1丁目9番15号 日本自転車会館

tel 03-3583-0545

fax 03-3505-2280